

俳句ポスト 秋の部 特選句

竹中 昭子 選(白山市俳句協会)

長き夜や小さなラジオ耳元に	徳丸町	谷口 外喜恵
秋立つや昨日と違ふ風に合ふ	福井県	大崎 昌子
大根蒔く八十路の父の背中かな	鶴来本町三丁目	北山 美和
老猫の確かな寝息秋深し	中町	佃 久美子
ふるさとの風持ち帰る芒かな	兵庫県	保理江 順子
みぞそばを一鎌こつら籠に生け	下野町	吉田 好枝
背負ひたる児のぬくもりや秋の暮	美沢野町	永盛 富佐恵
大銀杏伐つて広がる鱗雲	徳光町	浜野 泰弘
長き夜や母の息づく裁縫箱	東京都	中島 克子
秋夕焼煙突一基暮れ残り	東京都	牟田 英子
手水舎に水音きよき白露かな	能美市	森田 香津美
暮れてなほ残る青空蕎麦の花	能美市	北野 忠男
空瓶へ野にあるやうに草の花	山島台三丁目	福田 千鶴子
絵てがみに添ふる一筆夜の長し	若宮二丁目	村井 美枝子
星月夜良きこと一つ記す日記	柏町	大浦 春美
生身魂戦中戦後語りつぐ	河内町	南保 蒼生子
波音に眠る月夜の千枚田	黒瀬町	宮本 登代子
白山にかかる笠雲秋の風	蕪城二丁目	森 典子
長き夜を長き電話で更けにけり	深瀬	葛西 喜代美
入日差す花野に眠る山男	東京都	高嶋 旅人

選者吟

母恋の歌碑へ木洩れ日小鳥来る

昭子

〈令和3年8月～10月 投句数1,127 句, 投句者数 174人〉